

ジオパーク新潟国際フォーラムプログラム詳細

7月27日（水）14:00-17:00

ワークショップ「東アジアにおける“ネットワークの活性化”にむけて」

東アジアにおけるジオパークのネットワーク強化と活性化について、また、東アジアにおけるキャパシティビルディングの在り方や進め方についても意見を交わします。

より具体的な議論・成果を得るために、各国におけるネットワークの現状と課題を、事例報告によって共有し、招聘者のみならずジオパーク関係者やジオパークに関心のある多くの参加者による活発な議論を行う予定です。

（主な参加者：アジア太平洋地域やロシア等 10 以上の国からの招聘者、およびユネスコ関係者）

7月27日（水）13:30-16:30

展示体験コーナー「自由研究ができちゃう！？巨大すごろくにチャレンジ」

壮大な地球の物語が巨大なすごろくになった！？地球に起こった出来事を、さいころを振って体験する、小中学生向け夏休みイベント。巨大すごろくのマスには地球史の情報が盛り込まれており、日本や新潟で起こった大地の出来事を、体験ブースでさらに楽しく学べます。

同会場では、各地のジオパークに行ってみたくなるポスター展示、ご当地ジオパーク関連商品の販売も行います。

7月28日（木）9:30-15:00（14:00-15:00 昼休憩）

ジオパーク新潟国際フォーラム「新潟・大地と雪が織りなすジオパークからの発信」

開会式

基調講演

「東アジアのジオ物語ー水と大地と人のつながり」

松岡篤氏（新潟大学 理学部教授）

ジオパークについて初めて聞く人々への導入講演。ジオパークについて、新潟のジオパークの特徴と取組について分かりやすく紹介します。

「極東ロシア南部の地質観光資源」

ユージェニア V. バグダエバ氏

ロシア科学アカデミー極東支部 生物学・土壌学研究所科学者

新潟の近くでありながら、あまり知られていない極東ロシア南部の自然や文化。土壌学研究所の研究員が、「土」からみる極東ロシアの地質観光資源を紹介します。

「ユネスコ世界ジオパーク - 地球の記憶に学び、地域社会を元気に」

パトリック・マッキーバー氏

ユネスコ地球科学ジオハザード減災セクションチーフ

地質科学国際研究計画 IGCP 事務局長

世界ジオパークの誕生から、一貫してその活動に関わるマッキーバー氏。ユネスコの正式プログラムとなった今、ジオパーク活動を通じたこれからの地域社会づくりの可能性と展望をお話します。

事例報告&パネルディスカッション

ジオパークの考え方、ジオパーク活動を発展させる要であるネットワークの重要性について、事例報告とパネルディスカッションをとおして理解を深めます。

東アジアの中の日本列島のジオパークの特徴を、新潟の大地の歴史を背景に、山・雪・縄文文化・地震災害などの多様な関わりから紹介されます。さらに、ユネスコプログラムの中のジオパークの役割、それぞれの強みを活かしたジオパーク同士の協力関係など、国内外からジオパークの実践報告をうけ、ジオパークネットワークを通じた将来にわたる持続性のある地域社会づくりの可能性についてパネルディスカッションを行います。

閉会式

7月28日（木）9:30-14:30

展示体験コーナー「自由研究ができちゃう！？巨大すごろくにチャレンジ」

27日同様のプログラムです。